

桑名市と桑名商工会議所とアクサ生命が

「健康経営の普及促進及び健康増進に関する協定」を締結

桑名市と桑名商工会議所とアクサ生命は、2025年11月25日に「健康経営の普及促進及び健康増進に関する協定」を締結しました。

健康経営の普及促進などで連携

市、商議所とアクサが協定

【桑名】桑名市と桑名商工会議所（山本重雄会頭）、アクサ生命保険（東京都）は二十五日、健康経営の普及促進と健康増進に関する連携協定を締結した。健康経営とは、従業員などの健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること。協定は市内企業での健康経営の促進により、働く人たちの健康増進を図るとともに、家族や地域全体の健康寿命の延伸と地域経済の持続的発展につなげる目的。三者での協定締結は東海三県では初めて。

協定における連携事項は、市内企業における健康経営の普及促進▽市民の健康状況把握▽市民・市内企業の従業員への定期的な情報共有と分析に関する事項で、①ヘルスリテラシー向上への取り組み②女性のウエルビーイング推進③健康習慣アンケートの活用に取り組む。

同日、市役所で調印式が開かれ、伊藤徳宇市長、山本会頭、同社四日市支社の天野信行支社長が出席。伊藤市長は「全ての世代の健康づくりを進めているが、現役で働く世代へのアプローチが課題だった。大変きめ細かく情報を匿名で抽出し、データ化して支援されていて感謝した。連携をうれしく思うとともに、行政として必要な情報を共有し、全員参加での健康づくり、皆で健康になれる町づくりをしていきたい」と述べた。

山本会頭は「記念すべき提携に加えていただき感謝している。働く方自身の健康がないと問題解決できないし、アクサ生命様は大変なノウハウをお持ちなので、地域の総合経済団体としてノウハウや情報をスピーディに会員企業二千二百社余に伝えていく」、天野支社長は「顧客である中小企業が元気で永続的に発展していけるように、培ってきたノウハウを生かして、市内の健康増進に資



協定書を手にする（左から）山本会頭、伊藤市長、天野支社長＝桑名市市役所で

伊勢新聞 2025.11.26発行 転載

する活動をしていくことをお約束する」と話していた。

【協定の内容】

1. 市内企業における健康経営の普及促進に関する事項
2. 市民及び市内企業の従業員の健康増進に関する事項
3. 市民及び市内企業の従業員の健康状況を把握するために定期的な情報共有と分析に関する事項
(※その他目的達成に必要な事項)

※「健康経営」は特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標です。

お問い合わせ・担当者